

TP



刻み出す、トミダイ時間。

1 YEAR 富大での1年

1 DAY 富大での1日

1 HOUR 富大での1時間

学生生活Q&A

学長メッセージ



一瞬も逃さない！
毎日がフル回転！



TOMIDAI 1 YEAR

富大で送る充実度100%な1年間



刻み出す、トミダイ時間。

大学で得る学び、経験、思い出を胸に刻みながら、時を重ねる大学生活。一瞬一瞬のキラキラは、きっと一生の宝物になるはずです。

3
MARCH

2
FEBRUARY

1
JANUARY

12
DECEMBER

11
NOVEMBER

10
OCTOBER

9
SEPTEMBER

8
AUGUST

7
JULY

6
JUNE

5
MAY

4
APRIL

START!



スマイルフェスティバル<11月>

「子どもと触れ合いたい」という学生の思いから誕生し、学生が主体となって企画・運営を行う人気イベントです。多くの子ども達・親子連れが殺到し、毎年長蛇の列が見られます。



卒業研究・制作<2月>

最終学年に卒業論文の制作や卒業研究が行われます。芸術文化学部では、一般公開の形で行われる卒業制作展を開催し、大学で築き上げた学びの集大成が一同に展示されます。



学位記授与式<3月>

学位記を授与された学生たちは仲間や後輩に祝福されながら、新しい一歩を踏み出します。



就職活動

学内においても、各企業による合同説明会や学生が主体となった就活イベントが開催されています。

大学がサポートしてくれるので安心＆力強い！



理工ジョイントフェスタ<9月>

理学部主催の「サイエンスフェスティバル」、工学部主催の「夢大学 in 工学部」は時期を合わせて開催しています。子どもから大人まで、科学と工学の面白さに触れてもらえるよう、さまざまな実験や展示、体験教室を展開しています。

富山大学祭<10月>



本学では10月を「大学祭月間」として、各キャンパスで大学祭を開催しています。

2014年の富山大学祭テーマは「手作り、握手、個性」の意味を込めた「hands」。学生・大学・地域が手を取り合い、連日盛り上がりを見せた大学祭となりました。



全力で
楽しめ！



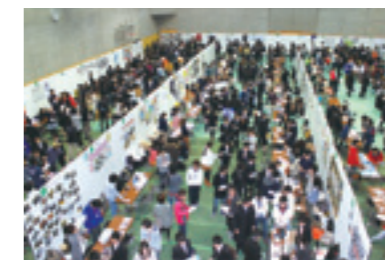
公開事業

杉谷キャンパスでは、和漢医薬学総合研究所や薬学部附属薬用植物園において、一般の方を対象にした施設の公開やセミナーを開催しています。幅広い年齢層の方々に参加いただいており、地域とのより深い連携を目指しています。



オープンキャンパス<7・8月>

7月から8月上旬にかけて、各キャンパスでオープンキャンパスが行われます。期間中は各学部で模擬授業や施設見学を行い、多くの高校生で賑わいます。



入学式<4月>

入学式では五福・杉谷・高岡各キャンパスの8つの学部と大学院の新入生2,000人以上が一堂に会し、入学式を行います。

入学式終了後には、各課外活動団体のブース説明会も開かれます。これからの大学生活に胸を膨らませた新入生を、各団体の学生が迎え入れようと熱心に勧誘を行います。



スケジュール帳が
真っ黒に埋まること
間違いナシ！

杉谷キャンパス 医学部生の1日



自習

午前に講義がない日は、医学学図書館や福利・厚生棟で自習をしたり、午後からの実習に向けて準備を行う学生が多く見られます。

医学学図書館は昨冬リニューアルし、グループ学習室やミーティング室が整備されました。個人用座席が大幅に増設されたのも、学生には嬉しいポイントです。



PICK UP!



10:30
講義

12:00
昼食

13:00
実習

神経解剖学実習

脳の各部位の主要な構造である神経核、皮質、伝導路について、身体の機能との関連を含めて学習します。中枢神経系の機能とさまざまな病変、その診断法を学ぶうえで基礎となる知識を獲得します。実習では4人1組のグループになり、実物を観察してスケッチを行い、理解を深めていきます。

実験室

病理診断学の教室で、すい臓がんの細胞を用いた実験をグループ制で行います。

男性が多いイメージの医学部ですが、米田さんの学年は唯一、女性が半数を占めるとのこと。「理系女子」は増加中のようです。



サークル活動

陸上部ジョグブロックに所属している米田さん。週末にはマラソン大会に参加し、昨秋には県外の大会にも遠征。

「マラソンを通じて、交流活動の幅が広がった」と話す米田さんのサークル活動は、勉強の合間の息抜きにもなり、とても充実した様子です。

将来の夢を
叶えるための
トミダイ時間

MESSAGE from
医学部 医学科2年 米田 千里さん

内科医である親の影響もあり、小学生の頃から医師を目指していました。ハードですが、とてもやりがいのある仕事だろうと思っています。

1・2年時には杉谷キャンパスの他学部・学科と合同で行う授業があり、少人数のグループで意見交換する機会がありました。富山で有名な漢方に関する授業が受けられるのも、富山大学の良いところだと思います。

前期と後期で授業や実習の割り振りが異なり、時間配分の調整がなかなか難しいですが、大学生活でしかできない事にチャレンジしてください。友達と遊んだり、バイトをしたり…いろんな経験を積んでください！

19:00
実験



PICK UP!



学生実験室

教員免許状を取得するには、自分の専門科目に関する科目はもちろん、教職の意義や教育の基礎理論、教育課程や指導法などたくさんの授業を受ける必要があります。

この日は人間発達科学部の学生実験室にて、事故防止、薬品などの管理や廃棄物の処理についての講義がありました。教員として、安全で楽しい実験を生徒に行ってもらうため、皆真剣に聞き入っています。



昼食

昼食時や講義の空き時間には、学生会館や生協食堂で休憩タイム。学生会館の館内にはコンビニ「TURIP」があり、ホールや多目的利用室はサークル活動などにも利用されています。

また、正門横の「カフェ AZAMI」も人気スポット。ガラス張りの開放的な空間からは、焼きたてのパンの香りが漂います。

8:45
講義

10:30
講義

12:00
昼食

13:00
講義



日本国憲法

憲法の目的や仕組み、人権や統治機構の基礎の理解を目的にした「教養教育科目」の講義です。

教養教育科目では外国語や情報処理など、さまざまな分野の授業を各学部の学生が受講しています。授業によっては、受講学生が300人に及ぶことも。



アルバイト

1日の講義を終え、夜は個別指導塾でアルバイトを行っている横川さん。将来の夢である、教師の「予行練習」にもなっています。

中学生や高校生に数学を指導しており、年齢が近いこともあって、友達のように仲の良い先生・生徒の関係を築いています。受験を控えた生徒の試験当日は、「自分のことのようにドキドキします」とのこと。

オン・オフ
全部充実な
トミダイ時間

MESSAGE from
理学部 物理学科2年 横川 和也さん

最初は工学部を希望していましたが、物理の教師になりたいと思い始め、物理の教職免許の資格が取れる理学部に入学しました。もし教師になれたら、変わり者が多いと思われる物理の先生のイメージを打破したいのと、サッカーが好きなので、サッカー部の顧問をやりたいです。

また、現在行っている、塾講師のアルバイトも将来の夢へのステップアップになればと思っています。

教員免許を取るためには、教職科目の授業も受けないとはいけません。大変な毎日ですがとても充実しています！

16:30
講義

18:00
バイト



TOMIDAI
1 DAY

五福キャンパス
理学部生の1日

TOMIDAI 1 HOUR

例えばココで1時間過ごすなら



全国の他大学の人気メニューが食べられるフェアも要チェック!



食堂



各キャンパスには、生協の運営する食堂があり、お昼休みを中心に、多くの学生や教職員が利用しています。メニューは幅広く用意されており、季節に応じたフェアも開催されています。利用者の増加に応じ、昨年度から増改築が行われました。

バランスの摂れた栄養価と、お財布にやさしいお値段は、特に一人暮らしの学生には心強い味方となっています。



五福キャンパスの食堂では、メニューを電子掲示板で告知。週替わりのオススメメニューなど要チェック!



トレーニングルーム

主に課外活動で使用されています。教職員・学生であれば申請のうえ、自由に利用することが可能です。身体づくりに、ダイエットにどんどん活用してください。



福利・厚生棟ラウンジ

ランチを食べたり、友人と談笑したり、自習をしたり…人気の憩いの場です。売店も併設しているので、お買い物にも便利。大きな窓からは附属病院も見渡せて開放的です。



パソコン室

学生の作品制作には必須のパソコン室。課題の締切前には必ずと学生が集まります。安全で快適なネットワーク環境を提供しており、多くの作品を生み出してきたスポットです。



富山大学附属図書館には、中央図書館(五福キャンパス)、医薬学図書館(杉谷キャンパス)、芸術文化図書館(高岡キャンパス)の3つの図書館があります。学生のより充実した勉学のため、学術情報や学習環境を提供しています。

医薬学図書館は昨年12月にリニューアルオープンし、個人学習エリアとグループ学習エリアの拡充を中心に大幅な環境整備が行われました。

お役立ちスポット

図書館

展示・プレゼンテーション英語

自身で制作した作品などを用い、すべて英語だけでプレゼンテーションを行います。ただ話すだけでなく、聞き手に分かりやすく伝えることを意識します。プレゼンテーションの様子は撮影されており、翌週の授業で映像を交えながら、振り返りを行います。



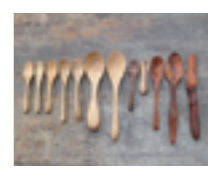
CGデザイン入門(3D)講評

CADソフトウェアを用いて、3Dデータの構築を学びます。CADの概念を理解することや、技術の習得はもちろん、時代の動きを捉え、創造性と芸術性の高い造形制作を目的としています。実際に作品を制作したうえで、講評が行われます。高岡キャンパスでは授業で生まれた作品が各所に展示されており、キャンパスそのものが美術館のようです。



木工室

授業時間外でも実習室を使用し、制作を行う学生が多く見られます。他にも機械室やパソコン室など、制作活動をバックアップする環境・設備が整っています。



サークル活動

軽音楽部でギターを担当している森崎さん。高校時代から始めたギターの腕前で、大学祭でも演奏をしています。



海外へ羽ばたくためのトミダイ時間

MESSAGE from 芸術文化学部 芸術文化学科2年 森崎 湧斗さん

家具を作る仕事に就きたいと思い、この大学を選びました。留学していた兄の影響もありますが、北欧の家具を見ているうちに、実際にその地で勉強したいと思うようになりました。4年生になったら姉妹協定を結んでいるスウェーデンの学校へ留学できるよう、苦手を英語を中心に勉強しています。

軽音楽部に所属したりアルバイトをしたりと、忙しい学生生活を送っていますが、時間が空いたときは家具作りの勉強・作業をしています。将来を見据え、目標とするプランに向け「日々邁進」です。



高岡キャンパス 芸術文化学部生の1日



10:30 講義

12:00 昼食

13:00 講義



15:30 作業





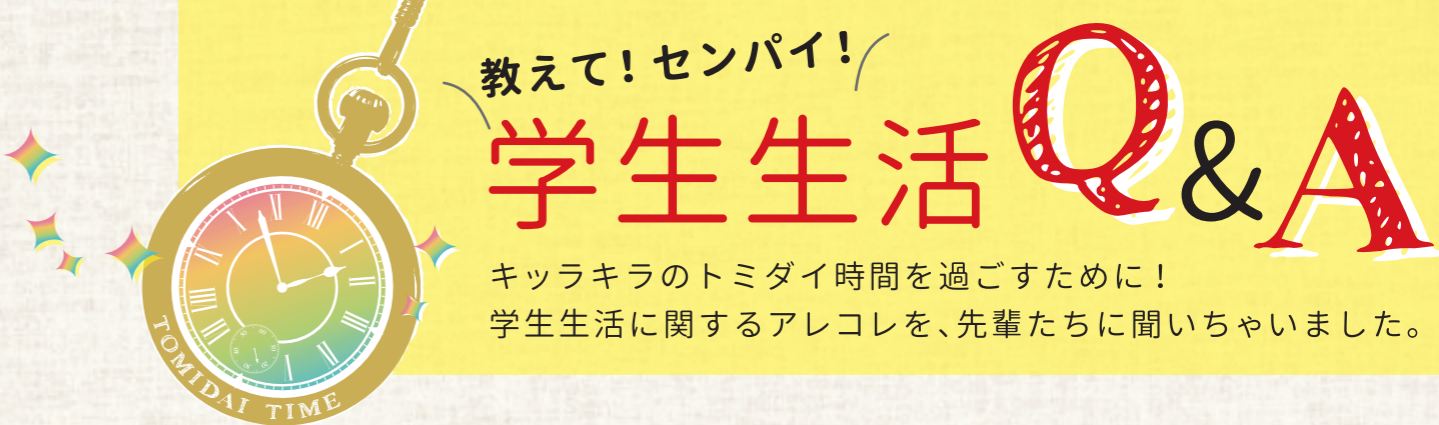
皆どうしてるの…? 将来の事、いつから、何から?

- 将来は高校で地歴の教師になりたいと思っています。教師は専門の教科を教えるだけでなく、生徒や保護者との人間関係の構築が重要だと思います。大学では専門科目を勉強するだけでなく、多くの人と関わるようにしています。(人文学部3年)
- 動物園や水族館の学芸員になりたいです。とても大変な仕事だと思いますが、生き物に携わりながらやりがいを持ってできる仕事だと思います。(理学部3年)
- 素材業界での商品の研究・開発や卒業論文の研究テーマから環境やエネルギーの業界にも興味があります。(工学部4年)
- 男子ソフトボール部のマネージャーとして活動してきました。それまでは選手としてスポーツをする側でしたが、違う視点からスポーツの楽しさやチームプレイの魅力を感じることができ、かけがえのない仲間に出会えたことに感謝しています。富山大学に来て良かったと思う、一番の理由です。(人文学部3年)
- アメリカンフットボール部に所属しています。司令塔のポジションとしてチームを引っ張っていて、リーダーシップが養われたと感じています。(経済学部3年)
- 陸上部に所属し、マラソン大会やロードレースに参加しています。高校までは文化部だったので不安もありましたが、フルマラソン完走という目標もできました。マラソン会場での交流も楽しみの一つです。(医学部2年)

サークルや学外活動…何かしてますか?

あのサークルに入りたい!

- 富山の職人さんとのづくりをしてコンペを目指す団体に入っています。1年かけてコンペに出すものを用意するのですが、ものづくりの進め方、価格設定、素材のことなど色々な視点から勉強になります。(芸術文化学部3年)



キラキラのトミダイ時間を過ごすために! 学生生活に関するアレコレを、先輩たちに聞いちゃいました。

高校と大学の違いは?

実際のところ…

- 大学では授業から生活の面まで自らで選択し、積極的に行動していかなくてはならないのが一番の違いであると思います。自ら行動しなければ何も始まらない、何も変わらないと感じるようになります。(人文学部4年)
- 学びたいことを自分で選べる点。1日のどの時間に何をするかを考えるようになりました。(理学部3年)
- 何をどれくらい真剣に学ぶかが、学生の自主性に任せられている点です。最低限で良いと思えばそれで過ごせますし、もっと深く学びたいと思えば、積極的に行動すれば協力してくれる先生や環境が整っていると思います。(医学部2年)
- ホームルームがないことだと思います。授業の変更や必要な持ち物を担任の先生が知らせてくれるわけではないので、大学に入ってから掲示板を見る癖がきました。(薬学部3年)
- 県外から富山へ来て一人暮らしを始めたので、**時間管理や自ら決定して行動しないとイケない**ことが格段に増えました。作品制作や課題レポートなどの進度に折り合いを付けていくのは未だに難しいです。(芸術文化学部3年)
- 医師として、**高齢化が進む地元**の地域医療を支えたいです。自身の経験から、病気によりそれまで普通だったことが普通でなくなる辛さを実感しているため、患者さんが早く日常に戻るための力になれたらと考えています。(医学部2年)
- ブックデザイナーを目標にしています。昔から本が大好きで、本の中身を読者に魅力的に伝える本の装丁に感動し、自分も人を感動させるような仕事をしたいと思ったからです。(芸術文化学部2年)



面白いと思った、やりがいを感じた授業・研究・課題を教えてください!

ナマの感想が聞きたい!

- コース専門の授業で英語学という、英語の使われ方や文法の根拠について学ぶ授業があります。高校では英語はただ暗記する科目でしたが、大学では英語の使われ方についての根拠や謎を解くことができました。(人文学部4年)
- 動画を制作する授業です。自分たちでカメラを使用して動画を撮影・編集し、完成した動画は先生やプロの方に評価してもらおうのでとてもやりがいがあります。(人間発達科学部3年)
- 富山大学の歴史を学ぶことができる「富山大学学」。集中講義なので3日間しかありませんが、富山大学の各キャンパスを見学するツアーもあり、楽しかったです。(経済学部3年)
- 私は数学科ですが、分野の違う授業を受けた際に思いがけず数学との繋がりを意識すると、より一層、面白みを感じます。例えば生物学で微分方程式が出てきたり、経済学で行列や微分積分が使われていたり、**数学と世界の繋がりが見えた時に数学の面白さややりがいを強く感じます**。(理学部4年)
- 2年生の時の実習では実際に病院に行き、臨床の場で使われる医療機器や設備を見学・体験させていただきました。工学部から医療現場に実習に行くことは珍しく、大変貴重な経験となりました。(工学部3年)
- 解剖実習は、医師に必要な知識と意識の根本を作る非常に大きな経験になったと思います。難しく大変でしたが、**講義や教科書だけでは得られない強い印象をもって学ぶことができました**。(医学部2年)
- 「富山のくすり学」という講義では、富山のくすりの歴史や県内の製薬企業とその代表的な商品を学ぶことができ、**理系の学部にはめったにない面白い講義だ**と思いました。(薬学部3年)
- 漆工芸を専攻する中で、新たな技法や素材に触れた時です。自分の課題を自分で見つけ、試行錯誤を繰り返すことをやりがいに感じられるようになりました。(芸術文化学部3年)



「富山大学学」では各キャンパスや学部の歴史に関する講義に加え、富山大学の前身となった施設を巡るツアーも行っている。

ココが大変! 1人暮らし、富山暮らし。

実家のありがたみが胸にしみる…

- 車がなければなあ、と思う瞬間は何度もあります。大きな荷物を運ぶときや遠くに出かけるときは車が無いと不便だなと感じます。(人文学部3年)
- 実家暮らしですが、通学に電車を利用して思いのほか時間がかかったり、電車の時間に左右されて自由な時間に帰ることができなくて大変でした。(人間発達科学部3年)
- 毎日ご飯を作り、洗濯をするなどの家事を続けることに慣れるまで大変でした。(経済学部3年)
- 一番苦労したことは雪ですね。もともとは静岡の出身なので、雪が降ったり、ましてや積もることはまずありませんでした。必ずと言ってよいほど雪が降り、道端に積もる富山では、交通手段が制限され、自転車が必要な交通手段だった私にとっては一番苦労したことです。(理学部4年)
- 都市部から富山へ来たこともあって、展示会や美術館が少ないと思っていて、フットワークが肝だと感じています。ただ、時折見られる立山連峰はとても美しいです。(芸術文化学部3年)



新一年生の皆さん、自分だけの素敵なトミダイ時間を刻んでください!!

「世界の一人」として何ができるか。 自ら考え、動き、可能性を試してください。

富山大学長 遠藤 俊郎

富山大学は平成17年10月に、それぞれ異なる歴史と伝統を持つ県内既存の旧富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学が再編・統合し、県内唯一の国立大学として新しい歴史を刻んできました。全国有数規模の総合大学として、8学部と和漢医薬学総合研究所、附属病院を加えた10部局で約1万名の学生が学んでいます。また、ここ富山県は、豊かな自然・食文化に恵まれ、自然災害も少なく、世界的な実績を持つ企業も多数存在しており、勉学・研究の場として素晴らしい環境です。今年10月には再編・統合から丸10年を迎え、今後もより一つの大学としての機能強化を進めたいと考えています。

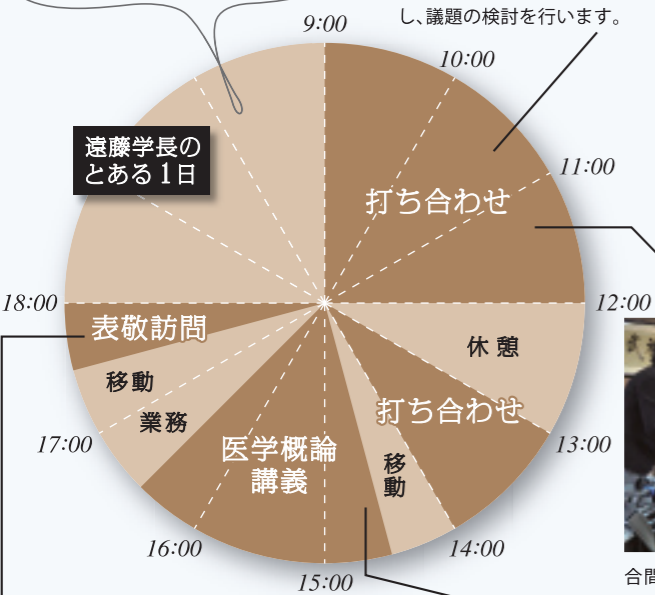
学生諸君に伝えたいのは「よく学び、よく遊び」そして「人との交わりと対話」を大切に過ごしてください、ということ。学びとは何か、遊びとは何かを考えた時に、私は、学びと遊びは決して分けられるものではなく、表裏一体のものであると思っています。ただ、学びには、人から与えられ、頭で理解する受け身の要素が多いのに対し、遊びには、自身の気持ちで選り、経験の中で身体が覚え、常に新たな展開につなげることのできる能動的な要素の強いことが、その違いだと思っています。授業・学業においては、容易に触れることのできる知識・情報媒体のみに頼るのではなく、自身の感性で考え、独自の知見を広めてください。同時に、学業以外のサークルやボランティアなど様々な場において、人生の糧となる豊かな遊び、挑戦を経験してください。遊びの中にこそ、自身の感性が育まれ、新しい自己発見ができると信じています。

また、私自身が学生の頃から、大学というのは人間的なコミュニケーションを広げる場だと考えてきました。人は一人だけでは生きていくことはできません。メールやSNSでの言葉のみに頼るのではなく、直接に人と向き合い、互いの思いを感じてください。周りには、いつも多くの友人、先輩・後輩、そして教職員がいます。様々な人との触れ合いの中で、良き師、良き友との出会いがあったなら、それは大きな幸せであり、人生の宝物となるでしょう。



プライベートではクロスバイクや野球などアクティブな趣味も

各部局の担当者や教授、理事と打ち合わせを学長室などで行います。学内会議などがある場合は各会議に出席し、議題の検討を行います。



合間を縫って本学のテレビ番組「Tom's TV」の撮影にも…。



音楽コンクールの全国大会に、東海北陸ブロックの代表として出場する本学人間発達科学部附属中学校の生徒の表敬訪問を受けました。和やかな雰囲気の中、遠藤学長は出場を決めた生徒に激励の言葉をかけました。



杉谷キャンパスにおいて医学部の学生を対象にした講義を行いました。これは医学部の教員が各専門分野についてその研究内容などを説明する授業で、遠藤学長は自身の経験を踏まえながら講義を進めました。

実は気になる!?!
遠藤学長 1 DAY
富山大学の長として、多岐にわたる業務と向き合う日々。とある一日の動きを教えてくださいました。



研究や課外活動の分野で活躍し、
学長表彰を受けた学生・課外活動団体を紹介します。

研究分野

第22回関西ロシア語コンクールにおいて ＜上級部門＞特別賞を受賞

大阪府で開催された第22回関西ロシア語コンクールにおいて人文学部の中原 哲志さんが＜上級部門＞の特別賞を受賞しました。

このコンクールはロシア語学習者の成果発表の場として毎年行われており、中原さんは上級部門においてスピーチや質疑応答、短文朗読を通した審査の結果、特別賞を受賞することとなりました。スピーチでは「誕生日」というタイトルで、自身の誕生日とこれまでの人生の中での誕生日にまつわるエピソードについて発表を行いました。

学長表彰の際には遠藤学長から「中原さんの発展とともに、日本とロシアの、そして富山大学とロシアの懸け橋になっていただくことを期待する」との言葉がありました。



左:学長表彰を受ける中原さん
(前列 左から2番目)
右:コンクールの様子

課外活動分野

JFN学生ラジオCMコンテスト2014に おいて入賞(中部地区ブロック賞)

FMとやまなど38局が加盟する全国FM放送協議会(JFN)の学生ラジオCMコンテストにおいて放送研究会の中西 将太さんが中部地区ブロック賞を受賞しました。

コンテストは全国の学生を対象に母校をPRするラジオCMのコピーを募集し、表現力や発想を競うもので、全国から1535件の応募がありました。

中西さんは「夢への扉」と題して、現役の富大生や留学生らが、将来の希望や富大の特色などを短い言葉で連ねた40秒の作品を作りました。



FMとやまの小山社長から表彰状を受け取る中西さん(右)

第48回笹本杯争奪北信越大学バスケットボール 春季リーグ戦において全勝優勝



全勝優勝を決め、笑顔の男子バスケットボール部

福井県営体育館他にて開催された第48回笹本杯争奪北信越大学バスケットボール春季リーグ戦において本学男子バスケットボール部が全勝優勝しました。

男子バスケットボール部は昨年10月に行われた第48回北信越大学バスケットボール選手権兼インカレ予選においても準優勝の結果を残し、第66回全日本大学バスケットボール選手権大会(インカレ本選)に出場しました。

第58回養神館合気道総合演武大会 競技演武男子茶帯の部において優勝

東京都の駒沢オリンピック公園総合運動場内体育館で開催された第58回養神館合気道総合演武大会の競技演武男子茶帯の部において医学部の瀬原田 魁さんが優勝しました。

養神館合気道は警視庁の女性必修科目として唯一採用されている合気道の流派であり、本大会には全国各地に加え、海外からも数十組が集い演武する中での優勝となりました。

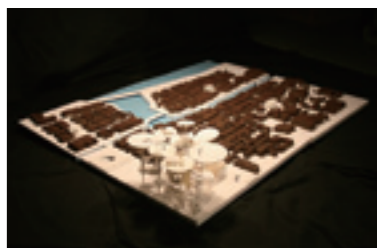


競技に臨む瀬原田さん(左)

土木デザイン設計競技「景観開花。10『未来へつなぐ 防災まちづくりデザイン』」において最優秀賞を受賞

仙台市内で開催された土木デザイン設計競技「景観開花。10『未来へつなぐ防災まちづくりデザイン』」において芸術文化学部の野中 美和さん、宮崎 和也さん、大島 堅太さん、堀 明仁さんの応募作品「祭りに誘われて」が最優秀賞を獲得しました。

「景観開花。」は、土木デザインに関心を持つ若者へ、その力を試す場を提供する事・多くの人々へ、土木デザインの可能性を示す事を目指して設けられたコンペティションです。「景観開花。10」では「未来へつなぐ防災まちづくりデザイン」をテーマとし、未来へつなぐ防災と「まち」の新しい関係を社会に広く提起する狙いで実施され、全国から学生や社会人の応募がありました。審査では地域の伝統的な祭りと防災を絡めて災害の記憶や避難行動を伝承させる取り組みが、全国的に応用可能な手法として高い評価を受け、最優秀賞を受賞することとなりました。



受賞作品「祭りに誘われて」の模型写真(上)・パネル(下)

研究者紹介

蛍光物質を活用し、 タンパク質特定の 新手法を開発。

平成26年11月12日の北日本新聞に「薬作用のタンパク質特定」というタイトルで掲載された記事。その中には、光反応を活かして薬の成分が作用しているタンパク質を効率よく特定する方法を、大学院医学薬学研究部の友廣准教授らの研究グループと畑中保丸理事・副学長が開発したと書かれていた。

「創薬ではその標的となるタンパク質の特定がとて重要で。しかし、タンパク質の種類は正確に把握されていません。よく似たものを含めると何十万種も存在するといわれています。しかも薬が作用するタンパク質は量が少なかったり、薬の結合が弱かったり、複雑な形をとるもの、取り出すと壊れてしまうものなど様々です。現在、創薬対象の多くは、量が少なく取り扱いが難しい膜タンパク質というものです。これまでの方法では、細胞の中に多く存在して、薬が強く結合し、取り扱い易いタンパク質を中心に解析されてきました。今回の光反応を利用した方法

は、あらゆる種類のタンパク質を標識できる優れた技術ですが、操作が煩雑になりやすいため特定に多くの時間がかかり、やはり量が少ないものは解析できませんでした。そこで開発したのがこの光化学標識法を進展させ

たもので、多様な機能を持つ標識を付けることで、複数の分析法で標的を見分け易くしました。光を照射するだけで煩雑な操作はありませんし、これまで特に難しかった、薬の作用点も解析できます。薬が作用するタンパク質を効率よく特定できるため、副作用を起こす可能性もある、標的以外の作用タンパク質も発見できるメリットもあります」と友廣准教授。

アクティブに取り組むことで 見えてくる世界がある。

薬の候補化合物から新薬を開発する上で、作用するタンパク質の特定は最初の重要ステップであり、副作用の原因究明も膨大な時間と多くの技術が必要となる。今回、友廣准教授を中心とした研究メンバーが開発した方法によって、従来費やしてきた時間と労力が、大幅に削減される可能性がある。

「今まで何年もかかっていたタンパク質の特定も、簡単な種類であれば2日で可能です。対象のタンパク質が分かれば、新薬の開発も生物学的な解析も次のステップに進みやすくなり、より応用的な研究ができます。「相手を知る」技術などの方法論の開発を含め、私達は生命機能の理解のために常にアクティブに研究を進めていく必要があります」と友廣准教授。そんな友廣准教授は研究漬けの毎日を送っている



大学院医学薬学研究部(薬学) 准教授

友廣 岳則
ともひろ たけのり

ケミカルバイオロジーの
分野から 新たな
手法論を開発

- Tom's Circle - 各キャンパスで活動するクラブやサークルを紹介!

富山大学FDC

世界各国の踊りを一緒に踊ろう!



「フォークダンス? マイマイムとかオクラホマミキサーのことでしょ?」そんなあなたの常識、覆してみませんか? 誰もが耳にしたことのあるあの洋楽から、オリンピック開会式で使われたあの曲まで、幅広い分野をカバーしています。あなたのお気に入りの一曲が必ず見つかる!!

さらに、FDCにはイベントが盛り沢山。東北から九州の仲間たち150名以上が参加する、全国規模の合宿やパーティは勿論のこと、ボーリングやBBQなどなど、大学生活を最大限に楽しめるイベントがいっぱい! 踊りが苦手でも、かけがえのない仲間たちとたくさん交流できますよ!!

誰一人としてキャラの被らない個性派揃いの部員たちが、あなたの参加をお待ちしています。始めよう民活!!

ボランティア同好会「ボラどう!」

楽しみながら社会貢献!



こんにちは! ボラどうです。さて、みなさんはボランティアにどんなイメージを持っていますか? 「参加してみたいけど、きっかけがなくて…」 「ちょっと大変そう…」 と思っている方もいるのでは?

ボラどうでは、楽しみながら社会貢献することを目指しています。ボラどうでは「きっかけ」を用意しているので、みなさんは「できる範囲で」参加することができます。無理する必要はないので、心に余裕をもって「楽しく」ボランティアできてしまうというわけです(たとえば、ボランティアで出かけるついでに観光! とか、海岸をキレイにした後の一杯が最高に旨い! とか、夏はそうめん、冬は鍋を囲んでの作戦会議とか)。その他現在は、東北被災地ボランティア、愚痴ボラ、「附属病院をより良くしよう(仮)」などの活動を継続しています。興味のある方はvolu.dou@gmail.comまで!

富山大学アカペラサークル BABYZ BREATH

みんなの声で楽しく奏でよう!



こんにちはBABYZ BREATHです! 私たちは「ハモネプ」でもおなじみのアカペラに取り組んでいます。アカペラとは、楽器を使わずに人の声だけで演奏するものです。音楽経験のないサークル員がほとんどですが、先輩たちに教えてもらいながら楽しく活動しています!

学祭でのアカペラライブなど自主ライブも年に数回行っています! 外部のイベントにも積極的に参加しています。また、金沢大学や福井大学など北陸の大学との交流も盛んで、合同合宿やライブも行っているため、他大学の友達もたくさん作れます!

歌うことが好きな人やアカペラに少しでも興味のある人は、ぜひこのサークルに入って私たちと一緒に楽しく活動しましょう!!!

吹奏楽サークル

音楽を通してたくさんの人と交流しよう!



高岡キャンパス吹奏楽サークルです! 主に地域のお祭りやイベント、施設などで演奏をしています。昨年7月に行われた「戸出七夕祭」では衣装を着て演奏したり、9月に行われた「金屋町楽市inさまのこ」では浴衣を着て演奏したりと普通の吹奏楽とは一味違う、「おもしろい」ことをしています。

普段は毎週火曜日、金曜日の放課後に練習をしています。部員は約17名と少ないながらも和気あいあいと楽しく活動しています。

このサークルの魅力は、音楽を通して地域の人々や仲間との交流を深めることができることです。音楽が好きで、「おもしろい」ことが好きな人、吹奏楽経験者、初心者問わず誰でも大歓迎です! 大学生活の忘れられない思い出を私達と一緒に作りませんか?

大学での研究生活で芽生えた夢と目指す自分。



吉岡 めぐみさん

●勤務先 / 第一三共株式会社 ワクチン事業本部 ワクチン事業部 研究グループ
●卒業年月 / 平成 25 年 3 月
●専攻課程 / 大学院生命融合科学教育部生体情報システム科学専攻博士課程修了

私は大学3年後期に配属となった研究室で始まった免疫工学に関する研究、単一細胞からの世界最速・最効率の抗体作製法の開発研究に大変興味と魅力を感じ、新しいものを創りたいという強い思いから、大学院修士・博士課程へと進みました。博士課程の間にアメリカのサンディエゴで国際学会に参加する機会があり、ポスター発表をしました。

そのときに、「海外へ留学し研究をしたい、幅広い視野で物事を考えたい」という思いが芽生えました。30歳までには海外留学へチャレンジしたいと思っていたところ、博士課程卒業後、運良く、県内医薬品研究者等パーゼル大学等派遣事業補助対象者に採用され、スイス・パーゼルへ一人で留学し、パーゼル大学で研究する機会に恵まれました。

新しいことばかりで、初めのうちは大変なことも多々ありましたが、パーゼルの素晴らしい街の景観と気候とヨーロッパの人々の温かさに触れ、常に前向きに楽しく毎日を送ることも研究に力を注ぐことができました。

Hello!

Message from TOMIDAI OB&OG

ハロ一先輩

私は現在、北國新聞社の財務部で働いています。財務部は会社の収入・支出を管理しており、伝票の処理をしたりお金の物の動きを記録する作業が主な内容となります。会社の経営状況を正しく把握するためには日々の業務の積み重ねが重要です。財務では社内全部署の経理を担当しているため他の部署の方と接する機会が多くあります。担当部署の仕事の流れを理解しなければお金の動きもわかりません。よって普段からコミュニケーションをとることが大切です。

新聞社の仕事というと新聞の記事を書く記者を一番に思い浮かべると思います。しかし他にも広告・販売・事業・出版など多岐にわたる職種が存在します。職種の幅の広さは多くのことを知り、学べるチャンスでもあります。新卒の魅力をひとつひとつも言えるでしょう。またどの部署にも共通して言えることは地域に密接に関わっているという点です。北國新聞社はふるさとに根ざした情報を常に発信しています。私は大学時代、地域活性化におけるメディアの可能性について研究していました。私が新聞社を志望し

メディアの発信で地域活性化につなげる。

た理由は新聞が地域の情報をより多く発信し活性化につなげることができるとメディアだからです。活字離れが進む現代ですが、ぜひ新聞を手にとって読んでみてください。ふるさとを知ることが自分自身を知ることにつながると思います。スマートフォンやパソコンからは知ることができない情報を発信することができますよ。



殿城 美李さん

●勤務先 / 北國新聞社総務局財務部
●卒業年月 / 平成 25 年 3 月
●専攻課程 / 芸術文化学部芸術文化学科 文化マネジメントコース 卒業

01 「漆に恋して」展のDM及びポスターのデザイン

展覧会名やテーマも学生たちで十分な議論の時間をもうけて決めます。論文系コースの学生も、実技系コースの学生も、各々得意分野を活かして全員参加でデザインをしました。

02 前期「うたひうたはれ」展示風景(10月23日~28日)

前期の展示は、漆工芸の意匠に着目して、作品と同じ植物をモチーフとした和歌(『万葉集』など)を組み合わせて紹介しました。四季折々の草花を工芸作家はどのように表現したのかに迫りました。

03 後期「カザリキラメク」展示風景(10月29日~11月4日)

04 後期の展示は、漆工芸の技法に注目し、様々な技法で造られた漆作品を展示しました。漆工芸特有の技法を紹介しながら、表面の美しさだけでなく奥深くまで漆の魅力に触れていただけるよう工夫をしました。



01

TOM'S GALLERY

「博物館実習Ⅰ」受講生による企画展「漆に恋して」

芸術文化学部の「博物館実習Ⅰ」では、実習の総仕上げとして、高岡市御旅屋町にある芸文ギャラリーにて受講生による企画展を毎年開催しています。平成26年度秋には、4年生10名が「漆に恋して」と題する展覧会を企画・開催しました(10月23日~11月4日)。

「博物館実習Ⅰ」は4年生が受講対象で、博物館学芸員養成必須8科目の最後に履修する科目です。これまで学内での講義や学外実習で学んできたことを、この芸文ギャラリーでの展示に応用します。展示の準備を通して、博物館・美術館の企画展で実際に学芸員が行うすべてのプロセスを体験し、互いに協力しながら展覧会を作り上げていき、実践力・即戦力を養っています。

今年度は富山大学芸術文化学部の所蔵作品の中から、漆工芸の作品に焦点をあて、前期「うたひうたはれ」、後期「カザリキラメク」をテーマとして漆の魅力を伝えました。

〈芸術文化学部／講師 三宮 千佳〉



02



03



04

発行日：平成27年3月27日
発行：国立大学法人 富山大学
編集：トムズプレス専門部会

- 飯田 敏 大学院理工学研究部 教授
- 中澤 敦夫 人文学部 教授
- 廣瀬 豊 大学院医学薬学研究部 准教授
- 渡邊 雅志 芸術文化学部 准教授
- 早川 芳弘 和漢医薬学総合研究所 准教授

問合せ先：富山大学総務部広報課
〒930-8555 富山市五福3190
Tel 076-445-6028
Fax 076-445-6063

<http://www.u-toyama.ac.jp/>
TOM'S PRESSはインターネットでもご覧いただけます。

本誌は、富山大学構内などで無料配布しています。
郵送を希望される方は、住所・氏名・年齢・性別・職業を
明記の上、メール又ははがきでお申し込みください。

本誌は、年4回、3ヶ月毎に発行します。
ご意見、ご要望を下記の連絡先まで是非お聞かせください。

〈E-mail〉
kouhou@u-toyama.ac.jp

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
再生紙と大豆インクを使用しています。



リサイクル適正 (A)

無断転載はご遠慮ください。
印刷・製本 能登印刷株式会社
ISSN 1880-6678

Cover Story

“創造工学センター”工学部

富山大学五福キャンパス工学部にある創造工学センターに1台のフォーミュラカーがあります。他学部からも工学部の垣根を越えて集まり、日々製作に取り組んでいます。実は昨年走行させるまでにかかった時間は8年。先輩から代々受け継がれたプロジェクトは今、最終段階に入っています。エンジンの供給やパーツの入手など地域の協力が不可欠なフォーミュラカーは、富山大学と地域の結晶といえます。ハンドルを握るドライバーは工学部の女子学生。彼女の目からは溢れんばかりの情熱が伝わってきます。

表紙担当／田中友野 小野寺咲
撮影／向島千尋 (すべて芸術文化学部生)
表紙監修／芸術文化学部 准教授 渡邊雅志

